

第130回気象記念日「地震・津波フォーラム」の開催について

気象庁では、来る6月1日の第130回気象記念日に、記念事業として、「地震・津波フォーラム - あらためて思う防災の大切さ - 」を、イイノホール(千代田区内幸町)で開催します。

フォーラムは、下記のとおり2部構成とし、地震・津波災害の実態等についての専門家からの講演を受け、パネルディスカッション形式で防災に向けた取り組みについて議論を進めます(講演者等、詳細は別紙を参照してください。)

このフォーラムへの参加は無料で、また予約も必要ありません。

第一部：講演

専門家2名により次の内容の講演

- ・ 地震・津波災害を繰り返し経験してきた我が国において、住民個々人が地震・津波災害にどう向き合っていくべきか。
- ・ 昨年12月のインド洋大津波災害の特徴とそれをふまえて我々が何を教訓とすべきか。

第二部：パネルディスカッション

報道機関、政府機関、地方公共団体、ライフライン関係者などの専門家をパネリストとする議論

- ・ 日本社会での自助の育成について
- ・ 地震・津波情報の有効な活用について



第130回気象記念日

「地震・津波フォーラム」

—あらためて思う防災の大切さ—

今年、気象庁が気象と地震の観測を開始してから130年目にあたります。昨年、スマトラ島沖大地震による津波災害で多数の犠牲者がでたのは記憶に新しいところです。一方、日本は、兵庫県南部地震、新潟県中越地震などこれまで多くの地震災害を経験しています。地震や津波による災害から身を守るためにはどうしたらいいのか？ 一緒に考えてみませんか。

開催日：平成17年6月1日(水)

受付・開場 13:00

開演 13:30

終了予定 16:30

会場：イイノホール

東京都千代田区内幸町2-1-1

TEL：03-3506-3251(代)



気象庁マスコット
キャラクター
「はれるん」

Program

第1部 講演 13:40~

「災害国に生きる私たち」 石黒 耀 (勤務医・作家)

「インド洋大津波災害に学ぶ」 今村 文彦 (東北大学教授 大学院工学研究科付属災害制御研究センター長)

第2部 パネルディスカッション 15:10~

「日本人の防災意識」「情報の活用」

コーディネーター 片田 敏孝 (群馬大学 工学部教授)

パネリスト 石黒 耀 (勤務医・作家)
今村 文彦 (東北大学教授 大学院工学研究科付属災害制御研究センター長)
小澤 邦雄 (静岡県地震防災センター所長)
上総 周平 (内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (地震・火山対策担当))
東方 幸雄 (東日本電信電話株式会社 本社災害対策室 担当部長)
西出 則武 (気象庁 地震火山部管理課長)
平野 啓子 (語り部・中央防災会議専門委員)
松本 浩司 (NHK報道局 気象・災害センター 記者)

(登壇順、五十音順)

入場無料

事前の予約は不要です



お問合せ先 気象庁 広報室 TEL 03-3212-8341 (代)
URL : <http://www.jma.go.jp/>

主催 気象庁